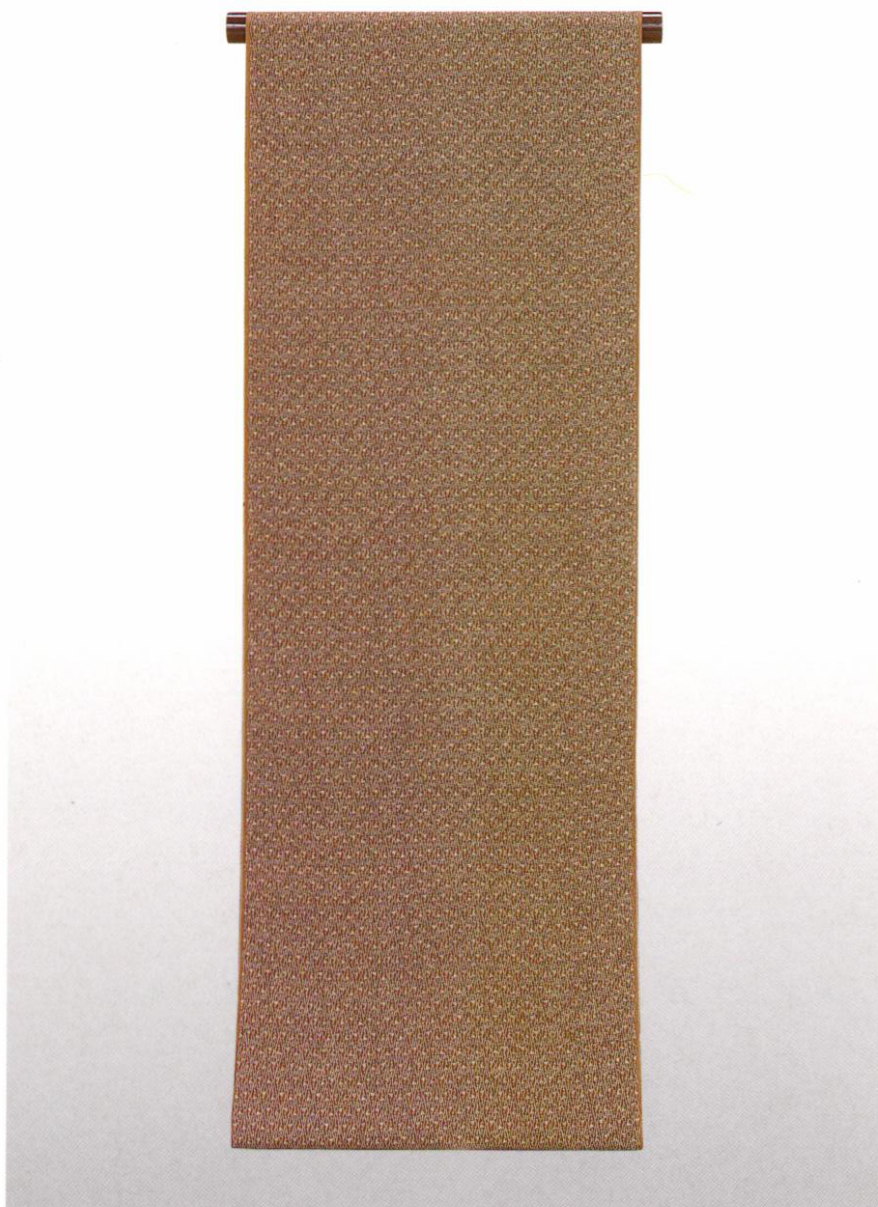


金澤北ロータリークラブ



第51回日本伝統工芸 出品作品

「なわ縄目なみがしらに波頭」

加賀小紋染 坂口幸市 日本工芸会 正会員

日本銀行金沢支店を見学して

職業奉仕委員長 佐賀 務

以前、佐藤日銀金沢支店長に講話頂いたご縁から1年、米澤会長のご指示もありようやく実現した。一般には余り知られていないことだが、店内見学は団体を対象に、以前から行われている。2ヶ月～2週間前の申し込みが必要で、午前9:30または午後1:30からの1時間が基本である。当北ロータリーの例会後としてはピッタリのタイミングであった。申し込み後、参加希望者の名前の提出を求められる。さすが嚴重だなと思ったが、28名もの会員に参加して頂き、「銀行の銀行、政府の銀行」たる日銀への皆さんの関心の高さが感じられた。

当日、正面玄関で全員の集合写真を取った後(内部は撮影禁止です)、入り口で案内係の神田、松下さんに見学証(和同開珎または日銀マーク)を掛けてもらい見学開始。まずはビデオ上映で日銀の機能や役割の解説。①日銀は日本唯一お札を発行できる発券銀行であること。同時に偽札や傷んだお札を監査し、機械で仕分けして裁断すること。あとで裁断クズのパックをもらったが、なんとなく儲かった気分になるのが不思議。お札を裁断するなんてバチあたりな・・確かに日本で唯一の銀行に違いない。②物価の安定。お金の価値が安定するよう、インフレ、デフレを監視、調節する。有名な3ヶ月ごとの「短観」で企業や銀行を調査し、景気の動向を発信する。お金の量の調節は、昔は公定歩合の上下が中心であったが、現在はオペレーションとよばれる、銀行との国債などの売買を中心に行なわれている。政策金利などは、日銀政策委員会9名の合議により決定される。③金融システムの安定。銀行間のお金の遣り取りを、日銀にある銀行の当座預金口座を通して行う(日銀ネット)。また、銀行自体のいわば健康診断も行っているとのことであった。

ビデオの次には、「見録円」と呼ばれる展示ルームに案内された。もちろん、「兼六園」にちなんで名付けられたそうなお札の一生を解説するパネル(平均寿命は一万円札で3～4年、千円札では1～2年だとか)や、体験コーナーで一億円の束(7～8kgか?)や一円玉で5000円(5kg)の重さを実感した。展示されている40億円の十

束封は小型冷蔵庫以上のボリュームで、お金という実感がもてない「物」にしか見えない。個人で持ち運べない(何のため?)ことは良く分かった。

最後にロビー(窓口)の見学。がっちりしたステンレスと強化ガラス?の窓口。中で女性の行員が緑色のエプロンをしているのが印象的。「あれはパートでないか?」との質問が飛んでいたが、レキッとした正社員であり、お札で汚れるのを防ぐ制服?だとか。男性は皆さん転勤族。「金庫がどこにあるのか?」の質問にはノーアンサーで、玄関の着色ボールが目立っていた。もっと中まで見せても・・との不満もあろうが、色々なことを考える人もいる?のでこんなものでしょうか。見学の間、お客様が一人も見えなかったが、直接ご縁になるのは破損したお札を交換にくるとき位かなと感じた次第である。



参加者

安宅、馬場、濱井、長谷川、飯田、川面、小泉、小間井、的場、松田、松本、本岡、中田(龍)、中村(實)、小川、大村、佐賀、坂口、桜田、澤田、汐井、高島、滝、俵、卯野、魚住、渡邊、横井、米澤(眞)、広沢(敬称略)



日本のM & A

畠 義昭

〈M&Aとは〉

M&Aとはmerger & acquisitionの略で、企業の合併と買収という意味である。少し前では1989年にT・ブーン・ピケンズによる自動車・航空機の部品メーカーである(株)小糸製作所への敵対的買収、近年ではライブドアや村上ファンドによる敵対的買収が新聞紙上をにぎわし、会社は誰のものか、M&Aの是非について改めて考えさせられた。

〈M&Aの統計〉

日本のM&Aの成約統計は2006年では2764件でマーケット規模はこの20年で10倍の成長を記録している。これらの潮流はなにも国際的企業や株式上場している大企業のみのことではない。当社グループがおこなった案件でも成約が公表されるものは3件中1件程度しかない。つまり、中堅・中小企業を含めるとその市場規模は約3～4倍にもなることを意味している。

では、何故M&Aを行うか。先の上場企業とは異なり、中堅中小企業特有の切実な問題がある。

〈M&A増加の背景〉

現在信用調査会社の統計によれば社長の平均年齢は58.9歳である。戦後20年代後半から30年代前半で創業された経営者は丁度現在世代交代期に差し掛かっている。

世代交代期における会社の取れる選択肢は大きく分けて5つと考えられる。

第1の選択肢は株式の上場。ここ最近では株式上場の是非が問われていることは本稿の主旨から外れるので割愛し、上場基準が少し緩和されたといえども日本の全法人中株式上場企業が約0.1%であることを考えると極めて稀な事例である。

第2の選択肢は、ご子息等の親族への承継。しか

し、少子高齢化による後継者自体の減少、職業の多様化による跡継ぎ不足、経営者としての資質の有無等により後継者を確保できている企業は非常に少なくなってきた。

第3の選択肢は、苦楽をともにした経営幹部への承継。しかし、長年営んだ会社では意外と株価も高額になっていることも多く、中堅中小企業の場合社長と幹部では財務基盤や資金力は大きな乖離があり負担が耐え難いのが現状である。

第4の選択肢は、廃業。これはステークホルダー(利害関係者)すべてにとって望ましい結果とはいえないため最も避けるべき方法である。

そして第5の選択肢がM&Aである。M&Aは消去法で残された経営者の最後の切り札かもしれない。

〈買収側〉

一方買収側としては新規に内部で取り組むよりも過去の成功モデルや利益をそっくりそのまま内製化することができるため、新規と比べて非常にリスクも少なくなるとも感じられる。

〈M&Aの効果〉

近年企業を取り巻く環境は大きく変化している。その一端に金融機関は融資制度を従来の担保主義から財務内容に合わせた格付主義へと変更してきている。

M&Aの手法を導入することで格付アップを図ることも可能である。

M&Aはセンミツつまり1000件に3件の成約確立といわれている。しかし、当社の過去M&A成約率は78.6%である。適性なステップを踏んだM&Aは非常にリスクも少なく、事業の益々の発展のための重要な経営戦略であることもアドバイザー業務を行っている当社としての実感である。

表紙作品

工芸歴 加賀小紋染 坂口幸市

金沢市工芸展(昭57)初入選金沢商工会議所会頭賞
以後連続入選
(平3)最高賞 金沢市長最優秀賞
石川の伝統工芸展(昭53)初入選 以後連続入選
(平2)北國新聞社長賞
(平4)最高賞 石川県知事賞
(平10)(平14)特賞(2回受賞)
(平6)鑑査委員出品以後歴任
加賀友禪創作展(昭56)石川県知事賞

石川県現代美術展(平元)北國賞
(平7)金沢北ロータリークラブ賞
全日本伝統工芸選抜展(昭59)出品
日本伝統工芸展(昭56)初入選奨励賞 石川県立美術館納
(昭57)入選以後連続入選
日本伝統工芸染織展(昭57)入選石川県立美術館納以後連続入選
(平11)鑑査委員出品以後歴任
(平12)最高賞 文化庁長官賞

役職

日本工芸会 正会員
石川の伝統工芸展 鑑査委員
日本伝統工芸染織展 鑑査委員

第1615回例会 職場訪問例会

3月15日(木) 晴れ 12:30~13:00 松魚亭

1. 職場訪問

日本銀行金沢支店

2. 出欠

出席40名 欠席23名

出席率63.49% ビジター5名

3. 来訪者(敬称略)

金沢RC 蚊谷八郎 河野良三

金沢南RC 塩梅 修 荒井源空 町 寿

4. 幹事報告

・浅の川園遊会協賛金贈呈

ニコニコボックス

金沢RC 蚊谷八郎君

この度は、新生浅の川園遊会に対し、ご協賛を賜り誠にありがとうございました。

米澤(眞)君、松田君

一転して寒さが戻ってきたようですが、浅の川園遊会にはよい天気になりますようお願いいたします。今日職業奉仕委員会の方々、お世話になります。

佐賀君 本日の日本銀行金沢支店見学を楽しみにしています。

渡邊君 福島西RCの河野様からメーキャップ100クラブ達成の冊子を頂きました。100クラブメーク達成、おめでとうございます。

澤田君 二女が、二浪しましたが、徳島大学医学部に合格しました。将来、“美人女医姉妹”として売り出し、私は左ウチワで暮らそうと思っています。

合計12,000円(累計1,025,600円)

3. 来訪者(敬称略)

小松東RC 山腰 茂

金沢RC 北川 真 佐野由於

金沢西RC 辻 卓 戸水義雄

金沢南RC 中谷啓一 蓮川洋一



4. 幹事報告

・現代美術展に賞典費贈呈

・米山奨学生、シン・ドンミさん

ご挨拶



ニコニコボックス

米澤(眞)君、松田君

能登半島地震、一日も早く復旧いたしますように。

高島君 「こども時代を話す」の二回目を滝様にお願ひしました。どんな子ども時代をすごされたか、楽しみに聞きたいと思います。

滝君 今日はお耳を汚します。

澤田君 米山奨学生の申東美(シン・ドンミ)さんが、3月に大学院を卒業し、4月から大日本インキに就職となりました。1年間のご支援、ありがとうございました。

奥田君 元会長、清水忠様の元気なお姿を新聞で拝見して。また、ながらくご無沙汰しておりました。

合計16,000円(累計1,041,600円)

3月クラブ日誌

8日(木) 3月定例理事会

松魚亭にて

15日(木) 日本銀行見学

第89回ゴルフコンペ成績

平成19年3月21日(水)

能登カントリークラブ

	O	I	G	H	N	
優勝	川面正雄	44	45	89	13	76
準優勝	松本範夫	44	48	92	13	79
第3位	高島菊丸	52	51	103	24	79
第4位	川口喜樹	54	55	109	30	79
第5位	山上公介	46	40	86	7	80
第10位	中田龍一	53	44	97	12	85
第15位	蚊谷八郎	49	51	100	11	89
B B	越田和好					
ニアピン	佃、松本、山上、川面					

第1616回例会

3月29日(木) 晴れ 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話

会員 滝 憲三君

「こども時代を語る」

2. 出欠

出席36名 欠席27名

出席率57.14% ビジター7名



会長: 米澤 眞二

会長エレクト: 小間井宏尚

副会長: 磯野 洋明

幹事: 松田 忠秋

副幹事: 中田 龍一

S A A: 山上 公介

会計: 勝田 浩之

広報委員長: 的場 晴次

会員数: 64名

クラブ設立: 昭和48年10月3日

例会日: 木曜日 12:30~13:30

例会場: 松魚亭 金沢市東山1-38-30

TEL<076>252-2271 FAX252-2273

事務局: 金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内

TEL<076>222-2525 FAX224-2882
E-mail:k-kitarc@aqua.hokuriku.ne.jp